

第5回 隠岐の島町庁舎整備計画説明会 飯田会場 質疑録

日 時： 平成28年5月27日

場 所： 飯田集会所

住民参加者数： 16名

(住民A) 20億円の建設費の算出根拠は？

→ (役場) 最近の建設事例+ α の m^2 当たり建設費に5,000 m^2 を掛けて算出している。

(住民A) 用地費、造成費は、用地が決まりしだい、必要な額を計上するのか？ それとも用地費、造成費に上限を決めて場所を選定するのか？

→ (役場) 上限を決めているわけではないが、負担できる範囲内で考えなくてはならない。

(住民A) 説明を聞くと、新築することに反対はしないが、財源に役場内の内部留保金的な資金を充てるのか？

→ (役場) 役場内には基金が積まれているが、それよりも、この合併特例債を利用した方が有利である。

(住民A) 合併特例債以外に数億円必要だがその財源は？

→ (役場) それについては基金を充てる。

(住民A) 合併特例債というのはどういうものに使うことができるのか？

→ (役場) 基本的には公共施設など箱物が中心である。町と村を結ぶ道路とかでは、合併をしたのでもう少し便利にすべきだとかの理由で道路改良に合併特例債が充てられる。

箱物については、「旧〇〇村は△△な施設が不十分ではないか？」と言うときに町村間でバランスをとるために箱物の整備に充てられる。

(住民B) 交付税も減ってくる中で、行政サービスを維持できるのか？

新庁舎を建てることには反対しないが、人口が減少する中で新庁舎に対して将来のプランをもっているか？

→ (副町長) 人口が減少する中で、いろいろな施策を行いながら人口1万1千人を維持していこうという事を総合戦略の中で考えている。

庁舎を新築する場合はこの検討委員会の中で、華美にならない、身の丈に合った、将来を見すえた計画を立てていきたい。

(住民C) 新庁舎を建てることには反対はしないが、フェリー乗り場周辺活、隠岐の島町の活性化もしながら庁舎を建てて行って欲しい。

→ (副町長) フェリー乗り場周辺の活性化や福祉施策などの事業とは別枠の事業として庁舎建設は行うので、他の事業をやりながら、庁舎建設も行いた

い。

(住民 C) 用地費、造成費、取り壊し費用など詳しい試算も入れた上で説明してもらった方が良かったのではないかと？

→ (役場) 現庁舎を取り壊す場合は 1 億数千万かかり、造成においても 1 億円程度必要と思われるが、場所が決まらなると提示できないが、用地費、造成費は経済比較の 7.7 億円の範囲内で収まると考えている。

(住民 B) 役場の耐震性能はどのくらい必要とみているか？

→ (役場) 震度 6、7 がきても大丈夫な耐震性能である。

(住民 C) 今後の流れはどうなるか？

→ (副町長) 新築で理解していただけたら、検討委員会を組織し、今年度中に場所を決めたい。

(住民 D) どう考えても耐震化するより新築した方が良いと思うが、場所を検討委員会で検討したとき、場所が現在の場所での建替という案も出てくるのか？

→ (副町長) 現位置での建替だと、建替時の執務をどうするかの問題もある。敷地面積が少ないので周辺の用地買収も必要となるが、現位置での建替も提案することとなると思われる。

(住民 D) もし別場所での建替となった時、現庁舎の後利用方法は？

→ (役場) 移転となれば、その時点で考えたい。

(住民 C) 新庁舎を建設する目的の一つに防災拠点としての整備もあるから、現位置では無理ではないか？

→ (役場) 現位置での建替をして欲しいという意見もあったので、候補として検討したい。

(副町長) 今日のところは現庁舎の耐震補強が良いという意見はなかった様に思われる。

新築移転において、規模的なものなどいろいろな意見を伺ったので、今日の意見を持ち帰り検討したい。